令和７年11月釜石市教育委員会会議定例会

１　開催日時　令和７年11月26日（水）　午後１時30分から午後２時23分

２　開催場所　釜石市役所第４庁舎　教育委員会　会議室

３　出席委員　教 育 長　　髙　橋　　勝
　　教育委員　　佐　野　茂　樹
　　教育委員　　花　輪　妙　子
　　教育委員　　中　田　義　仁

４　議案

番　号	案 件 名	審議結果
―	―	―

５　報告

番　号	案 件 名	審議結果
報告第９号	令和７年度第２回釜石市文化財保護審議会の開催結果について	承認

【開会・会期の決定・付議案件】

○髙橋教育長　本日の出席者は４人で定足数に達しており会議は成立します。

なお、佐々木ひづる委員からは欠席の届出が出されています。

ただいまから、令和７年11月釜石市教育委員会会議定例会を開会いたします。

日程第１、会期の決定でございます。会期は本日１日限りといたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

○各委員　（異議なし）

○髙橋教育長　ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日１日限りと決定しました。

それでは、日程第２、付議案件に入ります。

「報告第９号　令和７年度第２回釜石市文化財保護審議会の開催結果について」を事務局から説明をお願いいたします。

○小笠原文化財課長　資料１ページをご覧願います。

「報告第９号　令和７年度第２回釜石市文化財保護審議会の開催結果について」についてでございます。

開催日は10月16日、イオンタウン２階旧しごと・くらしサポートセンター会議室で開催されました。出席状況については、委員10名中９名の出席で会議は成立しております。傍聴者は岩手日報の１社でした。

議事の内容については、１つ目が「釜石市指定文化財推進物件について」です。今年度は、松倉太神楽及び松倉虎舞の指定について推進をしていくことで意思疎通が図られました。年度末までにはこの２件について、市の指定文化財として指定を進めてまいります。

２つ目、「釜石市指定文化財　明神かつらの倒伏について」、事務局のほうから説明させていただきました。こちらは、９月19日に強風によって倒伏があったことを所有者の方から報告がありまして、９月20日に文化財課の職員が現地に出向いて確認しております。この結果、指定文化財の倒伏ということでしたので、９月22日の庁議で報告をさせていただきました。10月１日に市議会の正副議長に説明を行い、10月３日に文化財保護審議会の史跡名勝天然記念物を専門とした第三専門部会の委員の皆さまに視察をしていただきました。審議会のほうでは、桂明神の社殿や壊れた鞘堂については、地元の管理となっているため、地元のほうで対応について検討することで報告がございました。質疑応答の上、指定文化財の価値を損なうものではないということで、審議会のほうで確認して、指定の解除はせずに指定のままということで確認しております。

３つ目、「第27回郷土芸能祭の開催内容について」です。事務局のほうから今年度開催する郷土芸能祭の計画案について説明いたしました。開催日は令和８年２月８日日曜日でございます。この日の審議を経てこれまでに確定している事項は、出演団体が確定しております。市内から８団体、招聘団体ということで、平泉から１団体決定しております。市内の出演団体については、虎舞が３団体で尾崎町虎舞、只越虎舞、錦町虎舞、神楽が２団体で平田神楽、東前太神楽、鹿踊が３団体で外山鹿踊、田郷鹿子踊、砂子畑鹿踊、以上市内８団体です。招聘団体につきましては、世界遺産登録のつながりということで平泉町から達谷窟毘沙門神楽に来ていただいて２月８日に郷土芸能祭を開催することで確認しており

ます。郷土芸能祭は有形文化財公開事業と隔年で実施しておりまして、今年度は郷土芸能祭を開催いたします。今後、詳細につきましては、委員の皆さまにご提言をいただきながら、２月８日の開催に備えてまいります。

そのほか、議事の４「その他」で主に出た意見は、今年度新規で実施をした「郷土芸能体験教室」について、いままで郷土芸能の伝承の取組は郷土芸能祭が主だったわけですが、さらに踏み込んで今年度から体験教室を開催しております。今年度については、松倉大神楽と松倉虎舞に披露いただきながら来場いただいた方に実際に体験していただくという、初めての取組を実施しております。また、「郷土芸能映像記録保存会」では尾崎町虎舞、南部藩壽松院年行司支配太神楽の映像記録保存会を実施しました。郷土芸能は披露、公開が主になりますが、プラスアルファで体験いただいたり、後世に伝承していくために媒体映像に残して今後の伝承活動に活用していきたいと考えております。その他、戦後80年の取組に関して、意見交換や実施した事業の概要についても報告をして意見を頂きました。

以上でございます。

○髙橋教育長　ただいま事務局より説明がありました。質問、ご意見等ございませんか。

○佐野委員　郷土芸能祭について、11団体から出演の意向があって、千葉委員から「せっかくなので、出演を希望されている団体の全てにお願いすることはできないか。」という意見に対して、８団体分の費用しかないということでした。費用だけの問題であれば、例えば８団体の費用を11団体で分けるということはできないのでしょうか。

○小笠原文化財課長　謝礼を１団体６万円支給させていただいておりまして、全団体に出演をお願いできない状況にあります。過去の出演実績なども鑑みて、虎舞３団体、神楽２団体、鹿踊３団体ということで、事務局のほうでも考慮して出演団体を決定しております。

○髙橋教育長　よろしいでしょうか。

○佐野委員　はい。

○髙橋教育長　そのほか、ございませんか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　２件の文化財の指定については、次の委員会で指定するかどうかを決定するということでよろしいですか。

○小笠原文化財課長　調査報告書をまとめた上で諮問をすることになります。

○髙橋教育長　よろしいでしょうか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　それでは、「報告第９号　令和７年度第２回釜石市文化財保護審議会の開催結果について」は、報告事項につき了承願います。

日程第３、定例報告事項等に入ります。

(1)各課事業報告及び(2)各課事業計画について、順次説明お願いいたします。

総務課よりお願いします。

【定例報告事項等】

(1) 令和７年11月各課事業報告・(2) 令和７年12月各課事業計画について
（総務課11月事業報告・12月事業計画に関連して）

○髙橋教育長　総務課の部分で「県立釜石祥雲支援学校創立50周年記念式典」と「いわて教育の日のつどい」に佐野委員にご出席いただきましたので、報告をお願いいたします。

○佐野委員　「県立釜石祥雲支援学校創立50周年記念式典」については、非常に立派に執り行われておりました。

「いわて教育の日のつどい」は、学習指導要領が今度改訂になるということで、それに関する座長をやられている千葉大学副学長の講演がありました。大きく２点ということで、我々は単位という言葉を使いますが、例えば、国語が５単位だとしたら、それを４単位に減らして、その１単位分をほかに振り分けることができるようになると言っていました。例えば、分かりやすく言うと1,000時間授業をしなければならないのを柔軟的に考えて年間600時間くらいでいいとか、実験校でそういうことをやっているそうです。教科や不登校関係などのワーキンググループごとの話し合いの様子がどなたでもネットで見られるそうですので、興味がある方はそちらを見てくださいということでした。

○髙橋教育長　ありがとうございます。

次に、学校規模適正化推進室からお願いします。

（学校規模適正化推進室11月事業報告・12月事業計画に関連して）

（学校教育課11月事業報告・12月事業計画に関連して）

（学校給食センター11月事業報告・12月事業計画に関連して）

（文化財課11月事業報告・12月事業計画に関連して）

（まちづくり課11月事業報告・12月事業計画に関連して）

（図書館11月事業報告・12月事業計画に関連して）

○髙橋教育長　各課より報告がありました。質問、ご意見等ございませんか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　学校教育課から、11月に開催した「海と希望の学園祭」と「未来探検授業」について説明をお願いします。

○岩渕学校教育課長　まず、「海と希望の学園祭」の中で青森市平和交流に参加した中学生10名のこれまでの平和学習についての学びのまとめということで、発表させていただきました。これまでも青森交流に参加した生徒の発表の機会を作りたいと考えておりましたので、今回は市民の皆さまに見ていただくいい機会だったと思っております。交流を通した学びや、教育長のほうからは平和を伝える中心となって頑張ってほしいというお話もあり、大変よかったと思っております。当日体調を崩して２名お休みしましたが、きちんとこれまでの部分をまとめて、平和について考えて発信できるような内容で非常によかったなと思っております。

21日に開催した「未来探検学習」については、総合政策課で企画していただいた取組にな

りますが、中学校１年生全員が参加させていただいて最先端の考え方に触れる学習の機会となりました。時間が押すくらい中身も深く盛り上がったということでした。

○髙橋教育長　「未来探検授業」については、両方とも東大の先生でしたが、最初の授業がカーボンニュートラルについてでした。地球温暖化に関わり、今の問題ではなくて、大人になったときにもっと大きな問題になるので、今このように勉強をして、ぜひ研究者として活躍するような人が出てくるといいねということや、今やっていることが未来の問題として直接大きく関わってくるという内容でした。

２つ目が「あなたも市長になれる」ということで、衆議院は25歳から、参議院議員は30歳から、県知事も30歳からと年齢制限があります。世界の中では18歳から知事や国会議員になっている国もあるということで、今、日本でもこのような審議が行えるということで、いずれ18歳以上から国会議員になったりとか、政治の中枢になるような時代が来るというお話をしていただきました。子どもたちも非常に興味を持って聞いていたようでした。カーボンニュートラルの話は難しいのかなと思っていましたが、分かりやすく説明をしていただいて、釜石市の子どもたちの反応もよかったです。「なぜ、地球温暖化は起こるのか」などの質問にも答えていましたので、素晴らしいなというのが率直な印象でした。

そのほか、ございませんか。

○中田委員　「はたちのつどい」に海外の方も参加するというお話がありましたが、そのことについてよろしいですか。

○浦城まちづくり課主査　釜石市に住民登録している二十歳の方であれば、市民課からデータの提供を受けて国籍問わず案内状を送付いたします。各企業等にもご協力いただきまして、釜石市内にいらっしゃるという方であれば案内状を送付して、当日ご参加いただくということで考えております。

○中田委員　せっかく釜石市に来ていただいているので、華やかなところに外国人の方も来ていただければ喜ぶのではなかと思います。釜石に国際外語大学校ができて、釜石市に思いを持って来てくれていると思うので、地元の子どもたちが接する機会があると、何か感じてもらえるものがあるのではないかと思います。今すぐにということではありませんが、いずれそういう場面があると面白いなと思います。

○髙橋教育長　学校教育課で考えていることはありますか。

○岩渕学校教育課長　多文化共生の部分で、例えば英語を勉強したときに、言語が英語ではないかもしれませんが、英語でコミュニケーションを取るときに、そういった学びの場があると、なぜ学ぶ必要があるのかとか、意欲などそういったところに繋がるのかなと思います。学んだ英語を通して触れ合う機会があるといいなと思います。学校教育課では、海外とのオンラインを行っていますが、ぜひ機会があればいいなと思います。

○中田委員　せっかく釜石市に来ていただいているので、お互いにWin-Winの関係で親しみ合えるのではないかなと思います。そういう機会があるといいと思います。

○髙橋教育長　昨年度来たばかりなので、こちらのほうから働きかけはしておりませんでした。

○中田委員　今すぐにということではなくていいと思うので、機会があればお願いしたいと思います。

○佐野委員　以前、授業の様子を拝見したいというお話をしていましたが、なかなか難しくて実現しておりませんが、この前シープラザの２階で開催していたパネル展を見に行った際

に、釜石市国際外語大学校のイベント開催のチラシがあったので、そういうのに個人的に参加すればいいのかなと思っておりました。

○髙橋教育長　そこについては、来年度ということで、教育委員さんからそういった意向があるということであれば、国際外語大学校の授業の様子を見学する機会を設定していただければいいのかなと思います。例えば、午前中に教育委員会会議を開催して、午後から見学をするとか、そういったところもあると思いますので、計画をお願いしたいと思います。子どもたちの交流の部分については、どのように交流ができるのか相談していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○髙橋教育長　そのほか、ございませんか。

○笹村総務課長　中田委員からタグラグビー大会の様子をお聞かせいただければと思います。

○中田委員　今年は低学年も含めて約100名に参加していただきました。昨年は16チームでしたが、今年は14チーム参加していただいて、全チーム５、６試合ずつ午前中と午後に３試合ずつ行いました。今年は釜石シーウェイブスの合宿と重ならなかったので、外国人も含めて選手が全員参加してくれて、子どもたちと選手が交わって盛り上がっていました。子どもたちも試合を重ねるごとに上手になって真剣になってくるのが分かるような大会でした。３位決定戦がジャンケンになってかわいそうな部分がありましたが、それもいい思い出になるのかなと思いました。天候もよく、大会も盛り上がりましたし、食事のほうもキッチンカーなどで子どもたちが楽しんでいたので、１日いい交流ができたのではないかと思います。来年も子どもたちに参加していただきたいと思いますので、教育長のほうからもぜひお声がけのほうをよろしくお願いします。

○髙橋教育長　小佐野で参加したチームは４チームぐらいですか。

○中田委員　小佐野は４チームです。小佐野は夏休み明けぐらいから毎日トレーニングをしているみたいで、すごく上手で子どもたちも練習すればあれぐらいになるんだなという目標にもなったと思うのでよかったと思います。

○髙橋教育長　ありがとうございました。タグラグビー大会に参加された方もいると思いますが感想等ございますか。

○浦城まちづくり課主査　開会式で「ありがとうの手紙」の合唱があり、ラグビーワールドカップからこれまで「ありがとうの手紙」を歌い継いで来て、今の子どもたちも歌えるんだなとすごく感動しました。私もラグビーをやっていたので、タグラグビーとはいえ、あれだけの子どもたちがラグビーに親しんでくれているのを見ると嬉しい気持ちになりました。楽しそうに競技に参加していたので非常にいい機会になったと思います。

○髙橋教育長　中学生の参加は難しいのでしょうか。

○中田委員　中学生でも全然問題ないです。

○髙橋教育長　小学生が中心だけれども、場合によっては小学校でやってきた子どもたちが個人でチームを組んで参加したいということであれば、中学生が参加できる機会があるといいなと思います。

○中田委員　シーウェイブスからの情報では、今年はシーウェイブスに各小学校で行っている子が多かったそうです。ぜひ学校のほうからも積極的に子どもたちに参加してもらえるように働きかけをしていただければ、表情を見ている限り楽しそうにやっていたので、そういう機会を与えてほしいなと思っています。よろしくお願いします。

○髙橋教育長　釜石市にとってラグビーは財産だと思いますので、子どものうちにラグビーに触れる経験をすることも大事なことだと思いますので、今後とも各学校への参加の呼びかけをお願いいたします。

○髙橋教育長　そのほか、ございませんか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　それでは、（３）その他、何かございませんか。

○岩渕学校教育課長　児童生徒のインフルエンザの感染状況についてご報告させていただきます。釜石市内の小中学校で10日前ぐらいから急激に流行ってきておりました。釜石東中学校は１年生が学年閉鎖、鵜住居小学校が学校閉鎖、栗林小学校は５、６年生が学年閉鎖ということがございました。次に平田小学校、小佐野小学校で流行っておりました。平田小学校は、５年生以外は閉鎖ということになります。小佐野小学校は、５年生は58名中20名がインフルエンザで、その他体調不良が８名で半分近くが欠席しているような状況で、学年閉鎖ということでした。小佐野小学校は今週いっぱい５年生が閉鎖になります。感染状況については、このあともまだまだ気になるところです。

○髙橋教育長　そのほか、ございますか。

○各委員　（なし）

【その他】

○髙橋教育長　それでは、日程第４、その他に入ります。

委員の皆さまから何かございませんか。

○佐野委員　クマの話について、今日もクマが出没して防災無線でお知らせしていましたが、学校の対策で何か変わったことはありますか。

○岩渕学校教育課長　この間爆竹を購入して、学校で鳴らしているかと思います。基本的にクマの目撃情報があった際には、保護者のご協力をいただいて対応していただいております。口を酸っぱくして言っているのが、学校の施錠管理です。クマが建物内に侵入してくる場合もあるので、施錠管理を徹底管理するところは校長先生を通じてお話させていただいているところになります。今、動いているのが、クマスプレーを購入して各学校に配付する準備をしておりました。早ければ今週中くらいには配れるかなと思っておりました。見守りの方にも配付できるくらい購入ができればいいなと思っています。

○佐野委員　市内ではクマスプレーは売っていなくて、遠野方面で輸入品だからなのか、昔は１万円を切っていましたが、１万５千円くらいでかなり高額でした。また、訓練をしておく必要があるそうです。テレビでは電気柵が有効だということをやっていました。

○岩渕学校教育課長　学校現場で電気柵というのは、なかなか難しいところです。

○佐野委員　情報が入って確認してから伝えるまでに30分くらいかかるようなので、ほかの自治体では、何分かでお知らせできるようなシステムにしたということをテレビで見ました。

○岩渕学校教育課長　市のＬＩＮＥに登録しておりますとクマ出没の情報が入ってきますが、やはりタイムラグはあるのだろうと思います。学校の対応としては、情報が入った際に学校で改めて保護者にお知らせをする流れになります。

○髙橋教育長　クマ対応のマニュアルについて、お話していただいてもよろしいですか。

○岩渕学校教育課長　今、市教委でマニュアルを作成していて、間もなく出来上がるところでしたので、各学校にお渡しして、各学校用にアレンジしていただくかたちになろうかと思います。クマが出没した場合や目撃情報があった場合の対応方法になります。

○佐野委員　子どもたちに教育を通じて専門家によるクマの講習会を、子どもを対象に実施できればいいなと思います。

○岩渕学校教育課長　まちづくり課で出前講座がありますので、各学校には活用の検討についてはご案内しておりました。現時点で学校からクマの出前講座の依頼はありますか。

○浦城まちづくり課主査　まだ来ていないです。

○佐野委員　学校単位だと差があると思うので、教育委員会のほうでできないものでしょうか。

○髙橋教育長　クマの出没が多ければ、必ず実施していただくことも必要かと思いますので、やる学校、やらない学校が出ないように、１時間程度で安全対策として実施できればいいのではないかと思います。まちづくり課の出前講座は各学校からまちづくり課に直接依頼するようなかたちでよろしいですか。

○浦城まちづくり課主査　ご依頼いただければ、講師は水産農林課の担当職員になりますが、私たちのほうで調整して各学校に派遣させていただくことは可能です。講師となる職員も１人だけではないと思いますので、何校かは同時開催も可能かと思いますので、その辺りは私たちのほうで調整させていただきます。

○髙橋教育長　実施時期については、来年新入生が入ってからになるのか、そこは検討していただきたいと思います。小学校でやれば中学校ではやらなくても大丈夫なのではないかと思いますので、必ず実施するように学校のほうにお願いしてもいいと思います。

○髙橋教育長　そのほか、ございませんか。

クマのことについては、よろしいでしょうか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　事務局のほうから何かございますか。

○各委員　（なし）

○髙橋教育長　それでは、次に日程の確認をお願いいたします。

（次回定例会について）

令和７年12月教育委員会会議定例会の日程について協議。
開催日は令和７年12月24日（水）午前10時と決定。

○髙橋教育長　本日の定例会は、以上をもって閉会いたします。

午後2時23分閉会